

令和3年度 国立赤城青少年交流の家 教育事業（民間企業等連携事業）

「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ in 国立赤城青少年交流の家 秋」

1. 趣旨

当機構は、体験活動を通じた青少年の自立を目指し、幼児期からの体験活動や基本的な生活習慣の育成について推進するとともに体験の場と機会のさらなる充実について取り組んでいるところである。本事業は、その具体的な事業の一つとして、民間企業等との連携による教育事業等の質的・量的な拡充を図るため、民間企業との共催事業を実施し、民間企業と連携したモデルを構築する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和3年11月6（土）～7日（日）

(2) 参加者

①参加対象 小学校1年生～3年生を含む親子

②参加人数 59名（19家族）

保護者29名 小学生23名 幼児5名 乳児2名

東京都12家族、埼玉県6家族、神奈川県1家族

3. 企画運営のポイント

- ・「長七郎山ハイキング」、「たき火体験」、「森のお弁当作り」などを通して、赤城山の大自然の中で、秋の自然を満喫する機会と場を提供する。
- ・家族内の交流を重視し、親子でゆっくりとした時間を過ごせるような活動プログラムやプログラム構成に配慮する。
- ・登山 YouTuber のかほさんをゲスト講師として招き、ハイキングや登山のお話を通して、山の魅力を伝える。
- ・地元の近隣施設の連携強化も踏まえ、赤城山南麓に位置する農園で「さつまいも掘り体験」を実施し、赤城周辺の魅力を参加者に伝える。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、1家族1部屋の配室、就寝前・起床時の検温、手洗い、マスクの着用など、基本的な感染症対策の徹底を図る。

4. 日程

	午前	午後	夜
11月 6日 (土)	浅草駅発一（特急りょうもう号）赤城駅着	長七郎山ハイキング 入所式	かほさんの登山のお話 たき火体験
11月 7日 (日)	森のお弁当作り 退所式 さつまいも掘り体験	赤城駅一（特急りょうもう号） 浅草駅着	

5. 主な活動内容



「車掌さんになって
写真を撮ろう」



「長七郎ハイキング」



「登山のお話」



「たき火体験」



「朝のつどい」



「さつまいも掘り体験」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 11 家族 (58%)、やや満足 8 家族 (42%)

(2) 参加者の声

- ・合宿を思い出すような、貴重な体験をしました。娘は、このような団体旅行は初めてで、どうなるかと思っていましたが、思ったより楽しんでいだし、色々頑張っている姿を見ることができて良かったです。
- ・子供が喜ぶ姿が見られてよかったです。スタッフさん、ボランティアの皆さんが優しく、子供も話しやすく楽しんでいる姿を見ることができて、父親として大変良かったです。
- ・来年も参加したいです。こういう主旨のイベントは素晴らしいので、続いていくことを希望します。
- ・かほさんのお話は、分かりやすく、とても楽しかったです。40分では短かった。いろいろと用意していただいたお話を全て聞きたかったです。
- ・去年と比較すると、簡単なルートへの山への変更や、ナイトハイクがないなど、少し物足りなかった。

(3) 成果

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施可否について再三検討を行ったが、定員を超える申し込みがあったり、コロナ禍で自然体験などを家族で楽しむ時間がとれなかったから参加した家族が多かったりと、体験活動の機会と場を欲している状況が伺え、そのニーズに応える事業が実施できた。
- ② ゲスト講師として登山 YouTuber のかほさんを招いたことで、プログラム内容が充実したとともに、ゲスト講師の SNS 媒体を活用した広報を通して、交流の家の認知度向上にもつながった。

(4) 課題

- ① 大多数が、青少年教育施設で宿泊をすることが初めての家族であることから、売店の有無や新型コロナウイルス対策用の寝具対応など、丁寧な事前案内をする必要がある。

担当：主幹兼事業推進係長 福岡 公平